

HOT キラリ



KIRARI
FUJIMI

富士見市民文化会館
キラリ☆ふじみ情報誌
2016年10月号
10月~2017.1月
Vol.54



©Ayako Yamamoto

心が
響く
音がある

2017. 1/22 キラリふじみ・コンサートシリーズ ニューイヤーコンサート2017



10/15-16 キラリ音楽祭2016 ~明日のために今日をはじめる~



キラリふじみでは、舞台芸術の作品を創造しています。このコーナーでは、実施した公演・事業を取り上げ、アーティストのコメントや公演の様子などとともに、創作の現場や成果をレポートします。



キラリふじみ・リーディング

『Mother-river Homing』

2016. 8/14 [日] マルチホール

作・演出：田上豊

アソシエイト・アーティストの田上豊が今回のリーディング公演で取り組む戯曲は、自身が作演出し、過去3年間5都市で上演を重ねた『Mother-river Homing』です。

久しぶりに6人の兄弟姉妹が母親のもとに揃った板倉家に、1人の少女が現れたことをきっかけに、秘められた家族の過去が明らかになっていきます。

そして今回、昭和の熊本で繰り広げられる、熱い絆で結ばれたこの家族のドラマを、平均年齢33歳、13名の参加者が演じました。彼らは台本を手放し、リーディングというよりは通常の劇作品を創る勢いで、エネルギーに稽古に取り組みました。

実年齢とは大きく異なる役柄を与えられた参加者が多かった今回、その1人の、板倉家の子どもを拐かしてしまう叔母役を務めた若い参加者は、自分の役の気持ちがわからないと、子どもをもつ他の参加者に相談。経験のないこと

でも、想像力で補わなければならないのが演劇の難しさです。でも、その答えは役を生きる中でしか見つかりません。

試行錯誤しながら役の内面を掘り下げていく中で、参加者は自分と戯曲の登場人物の人生の重なりに気づきはじめ、本番ではあたかも「板倉家」の人たちが舞台上に登場したかのようなリアリティを生みだしました。

そのエネルギーに観客は圧倒され、田上さんが「この公演は無料でいいの!?!」と疑問を抱くほどの熱量あふれる舞台となりました。

本番が終了すると、達成感とともに寂寥感に襲われた参加者たち。稽古では役と向きあうのが苦しかったはずなのに、終わってみれば役と格闘していた時間がとても貴重で充実したものだと感じられたからです。

それは演劇でしか味わえない喜びや、多くの人が虜になる演劇の魔力に触れた人たちの姿でした。



アウトリーチプログラム

2016. 7/12 [火], 13 [水], 15 [金]

富士見台中学校多目的ホール

進行：多田淳之介(当館芸術監督)

キラリふじみは、市内の小中学校にむけてアウトリーチ活動を行っています。今年度の第一弾として、富士見台中学校の3年生を対象に、当館芸術監督の多田淳之介が演劇ワークショップを行いました。俳優の榎原毅さんと佐山和泉さんに進行補佐を務めてもらいました。

ワークショップの冒頭「表現、想像力、発見」の3つが演劇では大切だと、多田さんは生徒たちに語りかけます。

そこで最初にやったのが大縄跳び。しかし、多田さんと榎原さんが大きく回す腕の先には、肝心の縄がありません。生徒たちは最初はとまどった様子でしたが、やがて〈想像力〉を駆使して、それぞれが空中に思い描いた縄に跳びこんできました。

次に、多田さんは生徒たちに、グループに分かれてある“形”をつくることを指示します。すると、すでに想像力の羽ばたかせ方を知りはじめた生徒たちは、多田さんが指示する三角形や直線などのかたちを自分たちの身体をつかって、喜々としてつくっていきます。猫、病院、飛行機と、さらに複雑なお

題が出され、バリエーション豊かなかたちが〈表現〉されてきました。

後半は、太宰治の『走れメロス』を素材に劇作りに入ります。まず、榎原さんと佐山さんが、町に出たメロスが王様に捕えられるシーンを演じます。プロの俳優が人間の心理や関係を探りながら演じると、シーンがダイナミックに息づきだすことを生徒たちは〈発見〉します。

最後に、生徒たちはグループに分かれて話し合った演出プランをつけて、このシーンを発表します。俳優ふたりは、各グループの演出案にそって王とメロスの役を巧みに演じ分け、生徒たちは自分たちの演出の効果を高めようと、家来や幽霊などの役をつかって自ら演じたり、ピアノの生演奏を受けもって盛り上げたりと、ユニークな一連の小作品を発表しました。

後日、届けられた感想文には、「表現することの楽しさ、大切さが学べた」「プロの演技は凄い」など、生徒全員の当日の興奮や喜びの声が溢れていました。

施設利用申請の手引き

申込可能期間——●メインホール、マルチホール……利用する月の1年前の月初日から利用日の20日前まで ●展示・会議室、展示室、アトリエ……利用する月の6か月前の月初日から利用日の3日前まで *ただし、無料展示会での利用の場合、利用する月の1年前の月初日から申込可能。 ●スタジオ……利用する月の3か月前の月初日から利用日まで *公演でホールを利用する場合、申込可能期間に関わらず、ホール以外の各施設も併せて申込可能。

*利用内容によっては、申請から許可までに時間がかかる場合や、利用許可できない場合がありますので、ご了承ください。その他、ご不明な点はお問合せください。

チケットの取扱い

予約・購入——発売初日の取扱いは下記の通りです。

窓口 午前9時より オンライン予約 午前10時より 電話 発売2日目以降より

*購入枚数を制限する場合がございます。

支払い方法——直接来館・口座振込・セブンイレブンの3つの方法が選ばいただけます。

※口座振込等の詳細はお問合せください。

申込み、問合せ

公益財団法人キラリ財団/富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ

〒354-0021 富士見市大字鶴馬1803番地1 tel 049-268-7788 fax 049-268-7780

URL <http://www.kirari-fujimi.com/> 携帯からもご覧いただけます。

開館時間 午前9時—午後10時

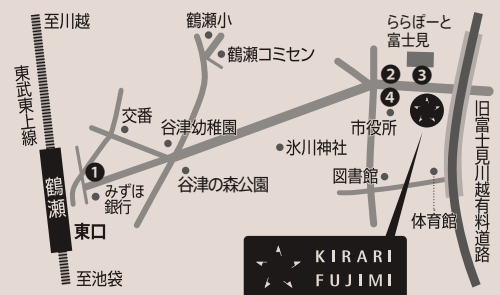
貸出申込の開始日——毎月1日の午前9時から。(ただし、1月は5日になります。)

開始日の午前9時までにご来館いただき、利用希望日をお伺いします。

*希望日が重複した場合、各主催者同士による話し合いでご調整いただき、話し合いが不調となった場合は、抽選となります。

利用料金の支払方法——窓口または銀行振込にて。(カード使用不可)

*利用許可後に、施設利用料金をお納めいただきます。



東武バス ①鶴瀬駅東口 ②富士見市役所前(降車)
③さらぼーと富士見 ④富士見市役所前(乗車)

臨時休館日…10/12 [水]・13 [木]、10/21 [金]・22 [土]、11/8 [火]・9 [水]、12/12 [月]～14 [水]、12/28 [水]～2017.1/4 [水]、1/16 [月]・17 [火]

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ HOTキラリ2016年10月1日発行 / 次回のHOTキラリ(vol.55)は2017年1月1日発行です。